

第2回横浜市青葉区福祉保健活動拠点指定管理者選定委員会 議事録	
日時	平成31年4月19日(金) 午前9時30分～午前11時10分
開催場所	青葉区役所特別会議室
出席者	<p>【選定委員】 北島康子委員、清水雅子委員、中野しずよ委員、山田秀樹委員、横山順一委員</p> <p>【事務局】 吉田 雅彦(青葉区福祉保健センター担当部長)、滝本潔(青葉区福祉保健課長)、神田紗弥加(青葉区福祉保健課事業企画担当係長)、小池由季(青葉区福祉保健課事業企画担当)、山口慎太郎(青葉区福祉保健課事業企画担当)</p>
開催形態	公開(傍聴者なし)
議題	<p>(1) 会議の公開・非公開について</p> <p>(2) 横浜市青葉区福祉保健活動拠点指定管理者選定について 評価基準項目、選定方法、評価項目の点数の付け方、評価点数の最低基準</p> <p>(3) 申請法人プレゼンテーション</p> <p>(4) 質疑応答</p> <p>(5) 指定候補者の選定</p>
決定事項	<p>社会福祉法人 横浜市青葉区社会福祉協議会を指定候補者として選定し、青葉区長に報告する。</p> <p>[評価得点/満点(最低基準): 705点/1,000点(600点)]</p>
議事	<p>1 開 会</p> <p>2 議 事</p> <p>(1) 会議の公開・非公開について 「応募法人ヒアリング終了後の審議」については、非公開とすることとした。</p> <p>(2) 横浜市青葉区福祉保健活動拠点指定管理者選定について 評価基準項目、選定方法、評価項目の点数の付け方、評価点数の最低基準について再確認し、委員全員の評価項目の合計点に対して最低基準の60%以上の得点を得た場合のみ、選考の対象とすることを確認した。</p> <p>(3) 申請法人のプレゼンテーション 社会福祉法人 横浜市青葉区社会福祉協議会</p> <p><法人によるプレゼンテーション></p> <p>(4) 意見・質疑応答</p> <p>(委員) 運営ビジョンについて青葉区の地域の状況や課題をどのように認識されているか。</p> <p>(法人) 一人暮らし、高齢世帯の増加が気になっている。生活支援体制整備につながるが、地域で閉じこもりがちで孤立している人を地域とつながるように働きかけたい。活動したいという方にボランティアセンターを紹介したり、引きこもりがちの方に講座の案内を行っていききたい。</p> <p>(委員) 資料2-1ページについて、区の地域特性やどんなニーズがあるのか、区に特別支援級がどのあたりにどれくらいあるのかなど、ざっくり区の特性を教えてほしい。</p> <p>(法人) 青葉区の人口が30万人強。男性の高齢化が進んでいる。高齢者の二人暮らしも</p>

多い。傾向としてはSOSが出しにくい。地縁組織が強く、地区社協も15あり、定例会も開ける。

高齢者世帯の増加に伴い、貨幣の管理が難しくなっており、成年後見人制度の手前の相談が増えてきている。

送迎サービスも月90人が登録し、毎月40人が利用している。依頼も多く、高齢者の外出のサポートを行っている。安心センターの利用者も60人強くらいで推移している。

東京で勤め、生活は横浜の方が多い。地域福祉保健計画も一緒にやってきている。

(委員)

移送サービスも、呼んでもすぐに来てくれないので、タクシーを呼んで付き添うことが多い。ボランティアでやっていることも多いので事業として考えてほしい。

(法人)

移送サービスの課題がある。介護タクシー事業を圧迫しており、平成8年からやってきている事業だが、方向性を検討する時期に来ている。

(委員)

ボランティアの育成について、年間で新しいボランティアがどのくらい育成されているか。

どのくらいの方が活動を継続されているのか。うまくいく方、いかない方がいると思うので、どのようなサポートをしているか。

(法人)

年間約100人が新規登録している。登録者の年齢層が高く、高齢化が進んでいる。活動内容は、サロンの運営、お話し相手、送迎の運転手など。ボランティアを継続できている人は2割くらい。残りの8割の方への働きかけとしては、個人の登録者に対しては、団体を紹介して継続できるように働きかけている。登録をして音沙汰がない方は1割くらい。

個人での活動から興味のある団体への登録につないでいき、活動を継続できるようにしている。個々人にあつたサポートをしている。

(委員)

シフト勤務だと思うので、職員との研修や情報提供はどうやって行っているのか。

(法人)

研修について、ボランティアコーディネータが昼間2人おり、1人週3回勤務。前からいる職員が新人のOJTをしており、拠点の管理運営の仕方、待遇などを教えている。

(5) 審議（指定候補者の選定）

審査の結果、指定候補者について、全員一致で決定し、青葉区長に対し、報告することとする。結果は以下のとおり。

ア 指定候補者の選定

社会福祉法人 横浜市青葉区社会福祉協議会

〔評価得点／満点：705点／1,000点〕

イ 付帯意見

(ア) 地域のアセスメントを充実して、区民の皆様にとってより良い運営をして欲しい。

	<p>(イ) 福祉保健活動拠点の運営計画の記載内容を、社協の業務との区別が分かるように、より明確にして欲しい。</p> <p>ウ 選定実施にあたっての意見 選定にあたっては、申請書類に沿った形でプレゼンテーションを行って欲しい。</p> <p>3 閉会</p>
--	--